学校だより
練馬区立小中一貫教育校
大泉桜学園
第143号
令和6年2月1日
発行者　池田 和彦
http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

やり抜く力

副校長　長　峯　貴　弘

「あきらめないでやることが大切です」等の言葉は、スポーツや学習の場面において、使われることが多い言葉です。

近年、注目を集めた力の一つに、「やり抜く力(ＧＲＩＴ)」があります。何事にも立ち向かうこと、あきらめずに継続すること、自らの意思で行うこと、粘り強さが要素となっており、顕著な功績を収めた人たちの特徴として、「やり抜く力」が強いことが挙げられるそうです。

何か物事に成功するためだけに「やり抜く力」が大切になってくるのではなく、その人がもっている能力を十分に発揮して、豊かな人生を歩むことにもつながる重要な力の一つといえます。

では、今の自分の「やり抜く力」の強さについて考えた時に、自分が思うほど強くない場合に、その理由として、こんな答えが浮かぶかもしれません。「怠け者だから」「飽きっぽいから」。また、何かをやめようと思う時に、例えば「つまらない」「そんなにがんばる価値はない」「どうせ無理」などが浮かぶこともあるかもしれません。このような考えをする場合も時にはありますし、「やり抜く力」を強くもつ人でもあきらめることもあるでしょう。ただし、重要度の高い目標ならば、歯を食いしばってでも最後までやり遂げようとします。重要なことは、長期的な目標のようにまだはっきりと自分の中で認識することが難しい目標に対してもぶれずに、ほぼすべての行動が達成に向けられていることです。物事について瞬発的ではなく、持続した情熱と粘り強さをもって取り組む「やり抜く力」が、もともともっているある種の才能なのかどうかということはさまざま研究がされているようですが、もともとの資質だけではなく、心理学などの研究から、「やり抜く力」を強くする特徴があるようです。

・興味　自分のやっていることを心から楽しんでこそ情熱が生まれ、目標に向かって努力することに喜びや意義を感じている。
・練習　「粘り強さ」の一つの表れとして、「昨日よりも上手になるように」と日々の努力を怠らない。慢心せずに、自分の弱さを克服するための努力を何年も続けていく。
・目的　自分のやっていることの目的意識を強くもっていて、個人的に面白いというだけではなく、他の人々の役に立ちたいと思っている。
・希望　困難に立ち向かうための「粘り強さ」がある。

自分は、何のために目の前のことに取り組んでいるのかを自分なりに理解して取り組むのとやらなければならないからやっているという受け身の状態とでは、同じ時間の取組だとしても差が出てきます。

どんな些細なことや退屈な作業にも、意義を見いだすことができることを「レンガ職人」の寓話を例に考えてみます。

「ある人が３人のレンガ職人に「何をしているんですか」とたずねました。すると、三者三様の答えが返ってきました。

１番目の職人は「レンガを積んでいるんだよ。」と答えました。
２番目の職人は「教会をつくっているんだよ。」と答えました。
３番目の職人は「歴史に残る大聖堂を造っているんだよ。」と答えました。

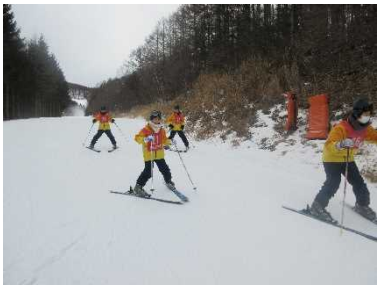
１番目の職人にとってレンガ積みは単なる「仕事」にすぎず、２番目の職人にとって、レンガ積みは「経験」であり、３番目の職人にとっては、レンガ積みは「天職」を意味しています。
同じことをしていてもどうとらえるかで、先ほど挙げた特徴を伸ばせるかどうかが変わってきます。

人が成長していくうえで誰でも限界に直面することがありますが、自分で限界をきめるのではなく、「やり抜く力」の強さを鍛えていくことによって一歩ずつでも前に進むことができます。

第８学年　スキー移動教室

第８学年副担任　叶谷　将樹

３学期が始まってすぐの１月 10 日～12 日に３日間のスキー移動教室に行ってきました。この学年にとっては全体での宿泊行事は久しぶりで、子供たちも年明け前から積極的に事前の活動に取り組んできました。今年は暖冬ということもあり、本来予定していたスキー場を変更し、ブランシュたかやまスキーリゾートで実習を行いました。初日の実習ではスキー板の履き方を知らない生徒も多く、これからの実習に不安を感じていました。しかし、インストラクターの方の丁寧なご指導もあり、メキメキと上達していきました。広大なゲレンデには生徒たちがお互いに協力し合い、楽しくスキーの練習に取り組む姿がありました。初日はリフトに乗るのが怖いと言っていた生徒も最終日には楽しそうにリフトに乗っている様子が印象的でした。３日目の帰りのバスでは「もっと滑りたかった」「今度は家族で行きたい」といった声が多く飛び交っていました。また、宿舎での生活態度も素晴らしく、それぞれが係の仕事に対して責任をもって取り組んでいました。４月には中学校生活最後の宿泊行事である京都･奈良への修学旅行が控えています。既に事前の学習を進めていますが、今回のスキー移動教室で学んだことを最大限に活かしてもらいたいと思っております。



第５学年　感謝の気持ちを込めて　「レッツ・トライ桜米 まとめの会」

第５学年担任　荻島　明子

第５学年は総合的な学習の時間に「レッツ・トライ桜米」と題して、大泉桜の里で約１年間米作りを行いました。5 月の田起こしから始まり、田植えや日々の水の管理、稲刈り、脱穀、精米を行い、子供たちは米作りの大変さや難しさを実感していました。今年は夏の猛暑が心配されましたが、最後に精米した際には、20kg 以上のお米を収穫することができました。

１月 13 日(土)には「まとめの会」を開き、一生懸命に育ててきた桜米の収穫の喜びを祝うとともに、収穫までの体験活動をご指導いただいた橋戸水田の篠崎さんと松本さん、いつも子供たちの活動をお手伝い頂いた難波先生、河野先生や諏訪サービスの皆さんに感謝の気持ちを伝えました。パーティーを開くに当たっては、桜米実行委委員を中心として司会進行や学習成果の発表、ランチルームの掲示・装飾など、係で仕事を分担して準備を進めてきました。

そして迎えた当日。前半は事前に作成したプレゼンテーションを利用しながら、桜米作りを通して学んだことや感じたことを発表しました。後半はみんなで楽しくおにぎりを作り、おいしくいただくとともに、お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えました。熱々の炊き立てごはんで握ったおにぎり。天日でしっかりと乾かしたので、甘さと粘りがあるさくら米となりました。「いつも食べているご飯より美味しい！ふっくらしている。」と普段食べているお米との違いを感じな

がら、一生懸命育てたお米を愛おしそうに食べる姿がとても印象的でした。

桜米作りを通して、日本古来、行われている稲作の工夫や知恵について身をもって学ぶことができました。また、友達の頑張りをお互いに認め合えたことがこの学習の大きな成果だと思います。自分たちで努力することの大切さや、それを支えてくれるたくさんの人たちの存在に気付く素敵な機会となりました。

校内書初め展

小学部国語科主任　井原　英昭

1月17日（水）から1月24日（水）まで、校内書初め展を行いました。1年生と2年生は硬筆、3年生から9年生は毛筆で取り組みました。12月から練習を始め、小学部は1月に学校で、中学部は冬休みの課題として清書を行いました。練習の成果が表れた子も多く見られ、どの作品も自分らしさを表現することができました。ご家庭でも書初めの練習にご協力いただきありがとうございました。

作品鑑賞では、それぞれの学年の作品を味わい、丁寧に書くポイントを考えたり、来年度の書初めに向けて意欲を高めることができました。

今年度は、昨年度に続き一般公開を実施することができ、多くの方にご来校いただきました。実際に書いた作品を見ていただくことで、子供たちの頑張りを感じることができたことと思います。ご参観いただきありがとうございました。

第１学年　昔遊びとふれあい給食会

主任栄養教諭　河野　純子

1年生は生活科の学習で昔遊びを体験しました。講師にさくらっ子スタッフさんと、図書館開放員さんをお招きして、けん玉、めんこ、ゴム段、こま回し、おはじき、あやとりなどの遊びを教えてもらい一緒に遊びました。初めて体験する子も多かったですが、楽しく遊ぶことが出来ました。昔遊びを楽しんだ後は、講師の先生と一緒に給食を食べました。当日の給食はきなこ揚げパンとデザートにプリンが出ました。揚げパンの味が、昔は砂糖味だけだったという話など、おいしい給食を食べながら、今と昔の給食の話題などのさまざまな話で盛り上がりました。笑顔があふれ、心あたたまるふれあい給食会となりました。

第７学年　連合ダンス発表会

中学部保健体育科　梶原　綾

1月23日（火）練馬区連合ダンス発表会が開催されました。今年度も光が丘体育館が会場でした。各校中学１～２年生から選抜されたチームが、それぞれ制作したダンスを発表します。本校からは７年生７名が選抜されました。

前日までたくさん練習に励み、無事に本番を迎えることができました。たくさんの観客を前に直前まで緊張していましたが、本番では笑顔で練習通りに大きく動きながら発表することができました。保健体育の授業内で行った発表会の様子は、学習展示会で動画視聴を予定しています。是非ご覧ください。

【お知らせ】

練馬区教育委員会より「学校における働き方改革」についての文書が配付されました。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、「電話応答メッセージ設定時刻」については、本校は中学校の設定になります。よって部活動等がある場合、下校から 30 分後に留守番設定になります。※令和 6 年 2 月 13 日（火）から試行されます。

時　期	部活動下校時刻	留守番電話設定時刻
3 月から 10 月	18 時 30 分	19 時 00 分
11 月から 2 月	18 時 00 分	18 時 30 分

2月行事予定

諸事情により予定が変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				安全指導 クラブ　クラブ見学(3)	都立推薦合格発表 社会科見学(5) 学習発表会実行委員会	
4	5	6	7	8	9	10
	桜学朝会 学習発表会特別時程 東校舎5時間授業	都立一次前期出願・書類提出終	中学部午前授業	学習発表会始 小学部5時間授業	学校公開始 本の探検ラリー(45) 学校評議員会 漢検	学習発表会・学校公開終 桜米まとめの会(45) お話会(2) 新入生保護者説明会 私立高校入試始
11	12	13	14	15	16	17
建国記念の日	振替休業日	学習発表会特別時程 東校舎5時間授業 都立願書取り下げ	小学部午前授業（6年は5時間授業） お話会(1) 都立願書再提出	避難訓練 委員会 たてわり遊び 東校舎プレ委員会	社会科見学(6)	制服採寸10時30分～12時 西体育館
18	19	20	21	22	23	24
		学年末考査1週間前	都立高校入試	クラブ 学校保健委員会	天皇誕生日	
25	26	27	28	29	3/1	2
		学年末考査1日目	学年末考査2日目	学年末考査3日目 クラブ発表会 たてわり遊び	都立高校発表 英語スピーキングテスト(78)	

教育相談場所	西校舎3階「相談室」	東校舎1階「あったまルーム」

☆中学部　スクールカウンセラー（上草）火曜日9:00～17:00　心のふれあい相談員（石井）月・木曜日8:30～15:30
☆小学部　スクールカウンセラー（中村）月曜日9:00～17:00　心のふれあい相談員（木村）火・木・金曜日9:00～14:00
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336（5・6年生は中学部用でも可）